

## さっぽろ雪まつり - 雪まつりとは

さっぽろ雪まつりは毎年2月に1週間にわたり開催される、雪と氷の祭典です。日本の主要な島のうち最北の北海道の最大の都市である札幌とその近郊の計3ヶ所でイベントが行われます。札幌は世界的にも降雪量が多い都市です。毎年の降雪量は平均485センチメートルで、積雪は80~90センチメートルにもなります。

3ヶ所の会場にはそれぞれ主眼や特徴が異なります。最初の会場となった大通公園会場は札幌中心部にあり、12ブロック以上にわたって雪像が展開されます。大通に近い繁華街すすきのでは、氷像と夜のイルミネーションが目玉となっています。約10キロ離れたところに、屋内・屋外アクティビティが楽しめる雪の公園、つどーむがあります。

雪まつりの主役は毎年異なるテーマで造られる巨大な雪像で、ほぼ原寸大の有名建築の再現などもあります。制作にあたり足場を組んだり、トラック単位での雪の搬入が必要になったりするものもあります。また、札幌市民や国際チームによる中規模の雪像や小型の手作りのものもあります。コミュニティー一体となった雪像制作による文化表現や絆の祝福とともに、観覧体験を演出するテクノロジーの活用も、雪まつりならではの特徴です。

ある札幌の学校の先生が生徒たちに伝えたように、雪を敵ややっかい者ではなく友達として喜んで迎えば、喜びや可能性がもたらされます。札幌の人たちはこの視点を受け入れることで、当初はいくつかの雪像と雪合戦から始まったこの雪まつりを、毎年何百万人もが訪れる世界的に有名なイベントへと変身させました。